

(令和5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (京 都 市 深 草) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
基 本 も 育 成 機 能	わんぱくランド(2)	10回		48	75	6	31		2					162	月に1回、工作や集団遊びなどの活動を行う。	季節に合った工作や集団遊びを行った。自由来館児童の参加を増やすことが課題である。
	幼児クラブぶち夏祭り(3)	1回	21	1	7		3		24					56	幼児クラブの親子を対象に、魚つりやひっぱりくじなど、緑日風のブースを展開した。	普段交流の少ない2歳と3歳の各クラブの親子が一堂に会する機会になった。
	夏祭り(3)	1回		2	40	2	7			3				55	小学生を対象に、ヨーヨーつりや型抜きなどのブースを展開した。店番は高学年が担当した。	自由来館児童も参加し、賑やかなお祭りになった。
	ドッジボールクラブ(4)	12回		73	72	18	27							190	小学生を対象に、公園で実施。試合を中心に取り組み、ボールのキャッチや投げの練習も行った。	身体を動かす楽しさや、チームで協力する面白さを感じられていた。
	ジャグリングクラブ(4)	34回		51	224	9	70	2						356	小学生を対象に実施。ディアボロというコマの技を練習した。	OBの中学生在指導してくれたり、地域のお祭りで技を披露したりした。
	検定(一輪車・けん玉)(2)	11回		5	78		19							102	けん玉と一輪車を技の難易度によって級分けし、その技ができれば昇級となる。	けん玉は毎月挑戦する児童が多く、順調に昇級していた。一輪車の受検者を増やすことが今後の課題である。
	中高生企画(7)	2回	9					7	6					22	・中高生と赤ちゃん講座 ・中高生と赤ちゃんの交流事業(クリスマス会)	助産学校の講座を通して、中高生に命の大切さを学んでもらえた。クリスマス会では普段関わりの少ない世代間で交流できた。
	伏見こどもまつり(5)	1回		10	11		4							27	・他館との交流 ・コーナー遊びの展開	各児童館が展開しているブースにて、工作やゲームを行った。他館の児童や職員と交流ができた。
	やきいも会(3)	1回		14	13	2	4							34	小学生を対象に前庭で実施。選んだ芋に下準備をし、焼いてみんなで食べた。	旬の食べ物をみんなで食べる楽しさ、楽しさを味わえた。
	クリスマス会(3)	1回		6	37	4	6							53	小学生を対象に実施。実行委員の企画のもと、手品やビンゴなどのレクリエーション、ケーキのデコレーションなどを行った。	レクリエーションやプレゼント渡しなど、参加者が喜んでた。企画・司会が実行委員の児童の成長につながった。
七輪でお餅を焼こう！(5)	1回		12		1	3		12					29	小学生を対象に実施。運営協力会の方や社会福祉協議会の方にご協力いただき、七輪でお餅を焼いて食べた。	手間をかけて焼いて食べるお餅の美味しさを感じられていた。	
深草ふれあいプラザ2023(5)	1回			7		2							9	・ジャグリングクラブのステージ発表 ・児童館ブースへの参加	ステージ発表では日頃のクラブ活動の成果を披露できた。児童館ブースではペンシルパルーンを提供し、来場者に喜んでいただけた。	
合 計	76回	30	222	564	42	176	9	44	3		5	1095				
合 計																
子ども育成機能 合 計																

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5年度) 年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市深草) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数								合計	内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生				大学生	大人
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	つくしクラブ(1)	36回	254						254				508	0歳～1歳過ぎの親子を対象としたクラブ（ふれあい遊び、手遊び、読み聞かせ、リズム遊び、製作等）	夏以降から参加者が増え始めた。今後は内部満足のため、内容を磨き上げていく必要がある。
	たんぼぼクラブ（1）	35回	253						225				478	1歳半位～2歳半位と2歳半位～就園前の親子を対象としたクラブ（工作、リズム遊び、手遊び、体操、運動遊び、感覚あそび、絵本読み聞かせ、誕生日会、クッキング等）	製作や消防署見学など様々な体験ができるところが好評だった。保護者同士での交流も見られ、子育て家庭の交流につながった。
	ひまわりクラブ（1）	36回	229						171				400		
	深草あそぼうDAY(2)	12回	26						22				48	月に1回遊戯室に普段遊べないおもちゃ（ボールプール、すべり台、トランポリン等）が開放され、乳幼児親子が午前中から遊びに来られる日で誰でも利用できる。	乳幼児クラブの参加者が来られることが多かった。参加人数を増やすことが今後の課題である。
	おためしクラブ体験(1)	1回	7						7				14	来年度の幼児クラブに登録を希望されている方や興味のある方の体験会。	幼児クラブのイメージをつかんでいただけで、参加されたほとんどの方が、登録してくださった。
	ファミリーサポート登録会（2）	3回	4						15				19	・ファミリーサポートの会員登録 ・提供会員の方への質疑応答	実際に地域で活動されている提供会員の方への質疑応答で、参加者の不安や疑問が解消されていた。
	乳幼児親子さんのクリスマス音楽あそび(1)	1回	20						25				45	地域の乳幼児親子さんを対象に実施。音楽療法士に来ていただき、クリスマスにちなんだ音楽遊びを行っていただいた。	ホイベントで初来館された方も多く、児童館の周知につながった。
	合 計	124回	793						719				1512		
支 援 活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路			件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数		
		乳児	17	児童館にて直接受理			68	健全育成問題		35	児童相談所		1		
		幼児	15	児童相談所			5	家庭養育問題		18	保健所				
小1～3年（自由来館）	2	保健所			4	成長・発達問題		32	子ども支援センター		10				
小1～3年（学童）	30	子ども支援センター			11	教育問題		5	幼稚園・保育園						
小4～6年（自由来館）	1	主任児童委員				非行・問題行動		1	小学校		5				
小4～6年（学童）	21	その他			5	その他		2	中学校		3				
中学生	4	{ 保育園、小学校、平安養育院 }				{ }			総合支援学校						
高校生	3														
件数 計	93	-			93	-		93	-		19				
推 進 活 動	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容			育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題					
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容			成 果 と 課 題								
		児童館だより、乳幼児親子向けおたよりを地域に配布	12回	近隣の保育園、幼稚園、小・中学校、運営協力会や地域の委員の方の自宅へ直接おたよりを届け、児童館での活動を知ってもらう。			おたよりを通して児童館の取り組みを知っていただくことで、イベント時などに地域の方々に協力していただくことができた。今後はInstagramなども活用し、児童館のさらなる周知を目指す。								

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域	基	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生			大人	合計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
	(1) 地域住民との交流を促進する活動	夏祭り	1回	京都市深草児童館			26		8		2	36	運営協力会 「子ども育成機能」参照 毎回定員いっぱいの申込があり、児童と運営協力会の方々が交流しながら楽しく食事をいただいている。 「子ども育成機能」参照 「子ども育成機能」参照	
		ふかくさ亭(子ども食堂)	21回	京都市深草児童館			186		34		43	263		
		深草ふれあいプラザ2033	1回	藤森神社			7		2			9		
		七輪でお餅を焼こう！	1回	京都市深草児童館		12	8	1	3		13	37		
		合計	34回	—		12	227	1	47		58	345		
福祉促進	本	活動内容		活動人数				成果と課題						
		・龍谷大学NPOボランティアセンターとの連携		中高生	大学生	大人	合計	龍谷大学NPOボランティアセンターに、ボランティア募集ポスターを掲示していた だいており、ボランティアに興味がある学生に連絡いただくよう要請している。						
合計														
機能	動	連携団体等		連携内容				成果と課題						
		地元連合会 社会福祉協議会 民生児童委員会 女性会 深草地域の保育園・幼稚園・児童館・小学校・中学校 地元池ノ内町内会・うずら会 (深草学区老人会)		①近隣の保育園、幼稚園、小・中学校、運営協力会や地域の委員の方の自宅へ直接おたよりを届け、児童館での活動を知ってもらっている。おたよりや掲示板を通し、児童館で取り組むイベントを知っていただいた上で、地域の方に連絡をとって協力や参加の依頼をしている。 ②深草ふれあいプラザ2023への参加。				①の結果、地域の方々が様々な場面で協力していただき、スムーズにイベントを実施することができた。また、地域の方々と児童館の利用者が交流することができた。 ②に参加したことにより、当児童館を知らない人とも関わることができた。また、ブースに児童館の看板を設置したことで、広報活動にもつながった。						

地	基 本 活 動	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		(4) 児童館を支える地域 組織作り		深草児童館運営協力会		1回	深草児童館運営協力会 ・運営協力会会長挨拶 ・済和福祉会より挨拶 ・令和5年度運営協力会委員の紹介 ・令和5年度深草児童館職員の紹介 ・令和4年度運営状況報告 ・令和5年度事業計画	多様に協力を得ることができている。
社 促 進 機 能	福 祉 促 進 活 動	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先 (団体・機関等)		成果と課題
		(5) 地域への施設提供		図書室の提供 遊戯室の提供 児童書・一般本・紙芝居の貸し出し 運動会などで使われる道具などの貸し出し 椅子・机の貸し出し		地蔵盆 地域住民の話し合い 子育て支援 PTAの行事 近隣の児童館の年中行事 地域住民の話し合い 育児サークル		池ノ内町西部 池ノ内町西部老人会 地域の乳幼児親子 深草小学校 うずらの里児童館 池ノ内町西部老人会
能	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	

(令和5) 年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市深草) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広	乳幼児クラブたより	月1回	乳幼児の保護者	近隣の児童福祉施設や役所への配布 乳幼児クラブの際に職員による案内 当児童館での配付 ホームページ掲載	乳幼児クラブの紹介 児童館行事の案内・その他自由参加の取り組みの紹介 図書の貸し出しについて紹介	役所に設置していただいているおたよりを見て当児童館を知ってくださった方が多く、乳幼児クラブの新規の利用につながった。
	児童館だより	月1回	学童クラブ児童とその保護者 乳幼児の保護者 一般来館者 近隣の福祉施設・深草学区各種 団体・保育園・幼稚園・小中学校・役所	学童クラブ児童への配布 当児童館での配付 広報対象への配布 ホームページ掲載 ポスターにして児童館掲示板に掲示 ICTで保護者に配信	一般来館者対象のクラブや行事内容 児童館からのお知らせ・お願い 前月の活動報告	幼児クラブに来られている方が、毎月最新のおたよりを持ち帰ってくださり、それを参考にクラブやイベントに参加いただけている。また、今年度からICTで学童クラブの保護者に一斉配信するようになった。「次月の予定をメールで確認できるので助かる」という声がある。
報	おやこ通信	2か月に1回	幼児クラブ登録保護者	当児童館での配付 郵送	幼児クラブ行事予定表 行事内容の詳細	幼児クラブの予定を掲載することによって、先のクラブへの見通しを持っていただくことができた。また、持ち物も記載し、準備いただいている。次年度からは紙媒体の配布ではなく、メールで一斉送信していく。
活	大学生ボランティア募集	通年	近隣の大学の学生	大学の掲示板や研究室等へポスター 掲示	学童クラブや一般来館児童との関わりや行事のお手伝いをしてくれる学生の募集	大学でのポスター掲示やチラシが定着した。今後は、今来てくれている学生ボランティアに紹介を依頼したり、ホームページやインスタグラムを活用したりし、随時募集をかけていく。
動	介助ボランティア募集	通年	地域住民・学生	当児童館でのポスター掲示 役所でのポスター掲示 広報誌ボランティアーズ掲載 OB・OGへの声かけ	学童クラブに通う障害のある児童の支援をしてくれる方の募集。 生活のお手伝いや、他児童とのコミュニケーションの仲介など。	当児童館のOBへの声かけで、今年度から介助ボランティアに来てくれる方が増えた。今後も引き続きポスター掲示なども行いつつ、OB・OGに声をかけることで地域住民との関係も構築していく。
	インスタグラム	随時	すべての方	定期的なインスタグラムの投稿 (週1~2回目安)	各事業の活動報告 各クラブ活動の募集 当児童館のイベント告知 館内の掲示物紹介など	今年度から開始。児童館の取り組みを報告したり、イベントの告知をしたりしている。ハッシュタグを複数つけることにより、普段児童館を利用しない方にも、児童館の取り組みを知っていただく良い機会となった。

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立	手洗いの励行 遊具・玩具などの定期的なチェック 昼食時・おやつ時の衛生管理 登館・下館時の安全の確保 健康チェック(各小学校と連携) 挨拶の励行 学習時間の確保(長期休暇中) ※平常時については自主性で取り組む 整理整頓、物の大切さを教える。 (ロッカーの整理・おもちゃの整理等)	インフルエンザの流行により学校で学級閉鎖が実施された時が頻繁にあり、館内でも罹患する児童が見られたが、普段から日々の活動の中で手洗いの呼びかけを徹底していたので、館内にて大流行することはなかった。さらに手洗い場や館内入口にもアルコール消毒を設置している。時々手洗いを忘れる児童がいるので、今後もチェックと声かけを続ける。 月に一度、安全点検の日を設けて、館内や前庭の安全確認を実施した。危険な個所については職員間で共有し、その問題解決にあたった。また玩具類は定期的にアルコール消毒を行い、割れている玩具等は処分した。 机だけでなくドアノブなど共有部分の消毒を行い、衛生管理に努めた。また館内に手洗いのマニュアルを掲示し、児童の手洗いの徹底を促した。職員が食品に触る時はゴム手袋を着用し、食品の冷蔵庫保管にも注意した。 登下館時については、各小学校と連携を取りながら、安全の確保、登館時刻の確認等、職員間の共有に努めた。1年生児童の下校時や児童の集団下館の班の職員による引率、地域の安心・安全マップの活用、子ども110番の家を確認した。 学級閉鎖クラスの伝達や児童の様子など、学校と連携で情報を共有した。また館内で体調を崩した場合は、他の子と隔離し、風邪などが蔓延しないように努めた。また、気持ちが不安定な児童には、職員が寄り添うなどの支援に努めた。 登館時、下館時はもちろん、日常生活における様々な場面で挨拶をすることの大切さを伝え、周知した。結果として、外部の方や地域の方にも挨拶をしている場面が見られた。また登館時の確認にも役立っている。(忘れる児童には指導) 学校の長期休業期間中は、朝の時間を利用して学校の宿題の取り組みを促した。家庭から問題集を持参したり、読書したりする児童もいて、それぞれが課題に向き合うことができた。また、支援の必要な児童が短時間で集中が切れてしまわないよう、集中できるものを勧めるなどして介助ボランティアや職員が見守るようにしていた。今後も介助ボランティアのご協力をしていただけるよう、お願いをしていきたい。(立ち歩こうとする児童には指導) 日頃から児童には整理整頓をするように声かけをしていた。下館時にも忘れ物をしないよう、さらに声かけをした。 また物の大切さを伝える為、物を丁寧に扱うよう伝えた。使用したおもちゃなどは児童たちが自分で片づけをしている。
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	おやつ当番活動 (助け合っておやつ当番の仕事をやり遂げる) 毎月の行事 (お誕生日会・子ども食堂) 季節行事 (新入生歓迎会・ハロウィンイベント・クリスマス会の準備・お楽しみ会 等) 館外活動 (なかよしマーケットの間屋・伏見子どもまつり 等) クラブ活動 (ハンドメイドクラブ・将棋クラブ) (ジャグリングクラブ・ドッジボールクラブ:児童館事業) 長期休業中の活動 (なかよしマーケット(品物制作含む)・夏祭り等)	おやつ当番という役割を与えられ、協力し合っきちんと役割を終えることで努力を認められ、褒めてもらうことでまた次からもさらにしっかりと頑張れるという成長が見られた。お互いの協力が必要で、児童同士の関係性も深まっていた。 お誕生日会は毎月の月末頃に実施し、大勢の前で何歳になったのかを発表し、皆でお祝いをした。人前に立つことが苦手な児童もいたが、周囲の励ましにより頑張って話す微笑ましい姿が見られた。子ども食堂では、皆で同じものを食することで喜びやマナーを身に着けたり、地域の運営協力会の方が料理を作って下さることで、その方々と知り合うこともでき、児童が道で出会った時に笑顔で手を振り合える関係にもなり、喜ばしい地域とのつながりが出来ている。 生活体験の拡充では、焼きいもや恵方巻きを食べるなど、児童館だからこそ出来る季節行事の他、こどもまつりに出かけるなどの館外活動行事も行ってきた。行事や日常で自由来館の児童が学童クラブ児童と交流する姿も多々見られ、児童館を心地よいと感じてくれている児童も見られた。長期休暇中、「なかよしマーケット(間屋)」では、参加児童が協力し合ったり、他館の児童と交流を楽しんだりする取り組みができていた。クリスマス会では実行委員会を立ちあげ、しっかりと役割分担をすることで、それぞれが責任感を持って楽しみながら取り組んでいた。 クラブ活動では、今年度はジャグリングクラブが深草ふれあいプラザに出演し、素晴らしい技を披露した。クラブ時間外でも、自主的に練習する児童が多く見られ、明確な目標を持って練習に励み、成功する様子から、努力を続けることで確実に自信につながっていた。ドッジボールクラブでは、月に2回、近隣の公園で活動をし、自由来館児童も参加して皆で楽しめていた。将棋クラブではいろいろな相手と勝負することで真摯に向き合い、将棋の面白さや勝利の喜びを味わった。ハンドメイドクラブでは、様々な物を作るチャレンジを楽しんでいた。各クラブ活動の中で、上手な子が練習中の子に教えたり、下級生が上手な上級生に教えてもらうために声をかけたりして、児童たちの関係も良いものになっていった。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 保護者説明会の実施 個別相談活動 子育てを支えるネットワーク形成	ICTによる出欠確認・保護者との連絡事項のやりとり ICTによるおたよりの活用、お知らせの伝達 保護者説明会の実施 個別相談活動	昨年度まで活用していた連絡帳の使用を廃止し、今年度からICTうえぶさくらの使用を開始した。学童クラブ児童の出欠や保護者との連絡、おたよりの掲載やお知らせなどもICTを活用している。保護者にも慣れていただき、ほとんどの家庭が活用して下さっている。ただ、登館・下館時刻を手動で行うため、多くの児童の打刻を短時間でしなければならず、今後、学童数が増加した場合、集団下館で実際に館を出た時間と打刻された時間に大幅なズレが生じてくる可能性があり、ICTのバージョンアップ等の対策が必要である。 年に2回の保護者会を行った。。内容は、長期休暇時の過ごし方と今後の行事予定をお伝えした後、児童館で過ごす子どもたちの様子をスライドで保護者に見ていただき、最後に児童館からお伝えしたいことをお話しさせていただいた。年度末の保護者会では、子どもたちの様子に加え、来年度の申請についてのご案内をした。保護者会は、保護者から直接お話を聞けたり、保護者からの相談にも乗ることができたり、保護者同士が顔合わせにもなったりする良い機会であった。 個別相談活動では、日々の児童と過ごす中で一人ひとりの課題や問題を把握し、状況によっては、保護者の方と面談を行う形式をとった。また、障害のある児童については、保育園以外に療育センターとの話し合いなども例年行っている。 また、日々の状況で問題ある児童については、学校との連携を図るなど、小学校との日常からの相互理解と信頼関係を努力してきた。 児童や保護者に関する問題等について、学校の担任の先生方や関係機関と連携し、情報を共有して問題解決に向けて動いた。

(令和5) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市深草) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容		
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人					
挨拶や整理整頓の指導	(1) 毎日															挨拶や整理整頓を習慣にできるよう日々指導する。	
子どもの状況等の把握	(1) 毎日															ICT等で把握し、出欠の有無、児童の体調管理も把握する。	
おやつ提供	(1) 毎日															基本生協で注文をするが、行事の際はスーパー等で購入する。	
登下館指導(引率含む)	(1) 随時															安全に登下館できるよう指導する。(引率する場合もあり)	
学習の習慣化	(1) 毎日															毎日の声掛けと長期休み中は朝の時間に学習時間を設けている。	
館庭掃除	(1) 随時															雑草抜きや枯葉の掃除等を児童と一緒にやっている。	
年末大掃除	(1) 1回	10	4	9	5	0	0									28 年末最終日に児童と一緒に館内、前庭の掃除を行う。	
防災・避難・防犯・訓練	(1) 12回	130	73	147	66	0	0	4	7				2	2	431	年間を通し災害の危険、避難方法について学ぶ。	
児童館での過ごし方指導	(1) 1回	15														新一年生に児童館での過ごし方を説明、指導する。	
新入生歓迎会	(2) 1回	13	11	16	9	0	0								49	新入生を歓迎するため、年上の児童が遊びや特技披露を行う。	
お花見	(2) 中止															コロナの為中止	
誕生日会	(2) 12回	143	87	152	75	0	0	1							458	毎月誕生日の児童をお祝いする。	
看護の日	(2) 中止															コロナの為中止	
学生ボランティア育成プロジェクト	(2) 中止															コロナの為中止	
交通安全教室	(2) 1回	10	8	14	6	0	0	1	1					6	46	登下館時などの交通安全について警察官に教えていただく。	
水遊び	(2) 1回	10	8	10	7	0	0								35	水鉄砲を使ってグループ毎に的当てを楽しむ。	
なかよしマーケットの品物制作	(2) 3回	33	26	48	23	0	0							1	131	なかよしマーケットに向けて児童に品物制作の時間を設ける。	
なかよしマーケット(問屋)	(2) 1回	0	0	5	4	0	0								9	3年生以上の希望児童が他館へ行き、品物を買付けに行く。	
なかよしマーケット(館内)	(2) 1回	9	9	16	6	0	0								40	他館から買い付けた商品(手作り作品)のお買い物をする。	
かき氷屋さん	(2) 2回	23	16	20	13	0	0	1	1						74	かき氷を皆で食べる。	
夏祭り	(2) 1回	13	9	18	7	0	0	2	2	3			1	55	館内全体を使用して、様々なコーナー遊びを展開する。		
ハロウィンイベント	(2) 1回	12	8	14	5	0	0	1	1						41	季節行事として、仮装・コーナー遊びなどを楽しむ。	
駄菓子屋さんごっこ	(2) 1回	7	2	6	4	0	0								19	おやつ時に高学年が売り手になり、紙のお金で買い物をする。	
クリスマス会実行委員会(Aクラス)	(2) 7回	0	0	49	35	0	0								84	3年生以上の希望児童がクリスマス会に向けて、企画・準備を行う。	
伝統工芸体験	(2) 1回	10	3	12	7	0	0							8	40	京都の清水焼の湯飲みの絵付けを体験する。	
お楽しみ会	(2) 1回	12	5	13	6	0	0								36	卒館する児童を送り出し、修了証やアルバムの授与を行う。	
謎解きアドベンチャー	(2) 1回	4	2	10	5	0	0								21	お別れ遠足が雨天中止のため、代わりに謎解き大会を実施した。	
お弁当いらないDAY	(2) 3回	38	20	37	22	0	0								117	運営協力会より、王将から提供されたお弁当を児童へ支給する。	
子ども食堂	(2) 21回	63	40	82	44	0	0								229	運営協力会のご協力により、児童へ楽しい食事時間を提供する。	
ビデオ上映	(2) 80回	523	342	575	344	0	0								1784	昼食後の休息確保の為に、映画を上映、鑑賞する。	
落ち葉清掃	(2) 随時																前庭の落ち葉を児童と一緒に掃除する。
ハンドメイドクラブ	(2) 20回	98	99	83	66	0	0	1							347	月2回、制作をメインに活動する。	
将棋クラブ	(2) 20回	29	24	80	0	0	0							1	134	月2回、将棋の上達を目指し対戦などを行う。	
京都子ども将棋交流大会	(2) 中止															コロナの為中止	
学童クラブ新入生説明会	(3) 1回							2							33	35	新入生の保護者を対象に児童館の利用説明を行う。
学童クラブ登録説明会	(3) 1回	1		1											26	28	学童クラブへの登録方法について説明を行う。
学校地域との連携	(3) 随時																学校行事や連絡事項、児童の気になる様子等、情報共有を行う。
関係機関との連携	(3) 随時																必要に応じて障害児施設や保育所等と情報共有を行う。
保育園の先生と連携	(3) 随時																新一年について気になることがあれば情報共有を行う。
保護者との個別面談	(3) 随時																新入生は必ず、在館生は必要に応じて面談を行う。
介助者との面談	(3) 随時																対象児童についての迎える準備、調整等を行う。
途中入会児童の対応	(3) 随時																年度途中に学童クラブに入会を希望する児童への対応を行う。
学童クラブだよりの発行	(3) 毎月																学童クラブのお便りを毎月発行する。
ICT(うえぶさくら)の活用	(3) 毎日																学童クラブ児童の出欠確認や保護者との連絡などを行う。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること